

平成22年度 NPO協働事業 キャンプ実行委員会記録 第4回目

日時 平成22年 8月12日(木) 13:30~16:30
 場所 小嶺児童館 小学生ルーム
 参加者 キッズワーク 大久保さん(進行) 鶴村さん(記録)
 小嶺児童館 加来館長 角園 長谷川
 中学生2名... (今水 茨木)
 小学生6名... 6年生3名(神園 小森 松本) 5年生2名(野崎 佐藤慧)
 4年生3名(村田 倉重 佐藤光莉)

13:15 スタッフ打ち合わせ...本日の話し合いの流れの確認
 ・ゲームの流れの再確認、ポイント場所の確認
 ・役割分担...当日の仕事の内容(ポイント毎にどんな仕事。説明をどう面白くするか。)
 ・必要なもの
 今後の予定 残り3回程度+直前リハーサル(前日が最適)

時間	内容・実際の様子など	大久保さんから
13:40	各自、宿題を書き込んだ表を持参し参加...別添参照 委員会資料① ゲームの流れの再確認、ポイント場所の確認 流れの確認後、役割の話の途中で、ポイント回り方の新たな案が出る。 ・6チームで、かぶらない様にスタート → 委員合意、この方法を採用決定 役割分担 ◎ キャンプ全体の中の大きな割り振り メイン活動...実行委員会 食事担当...野崎 萌(立候補...事前打診) その他(夜就寝前・翌朝解散前)...児童館職員 ◎ ゲームの役割分担必要人員確認 委員6人+中学生1人(今水)+職員 ●説明する人(進行係)...村田彩奈 ・あいさつ ・自己紹介 ・ゲームの説明...ゲーム名、どんなゲームか、ルール ● ゴールの... 最終立候補者2人(神園、小森)→委員の案により、 ・拍手(盛り上げる)・クラッカー 次回実演を見て、 ・くじ(内容検討...候補者の宿題) より面白い方に決定 ● 各ポイント 新幹線(佐藤光莉)角さん(佐藤慧)犬(倉重)カニ(今水) ・どのグループが来たかチェック ・面白い所の説明 ・隠し場所の範囲のヒントを出す 必要なもの ・次に進むカード・くじ道具・地域の地図・ポイント写真・係の人が分かるもの 次回宿題 ・各担当、自分の仕事に必要なことを考える(セリフ、道具) ・全体の進行に必要な物を考える(今日出てないもの) (ゲームの一コマ毎をつなぐための物が道具である事を踏まえて考える)	流れ、ポイント場所を改めて確認することで、委員全員の周知を図る。 ゲームが、キャンプ全体の中のどの部分かを示し、他の部分の割り振りの提案。合意の確認。 各係の仕事内容の確認 実際に実行する場面を想像させ、必要な配慮点を委員が気づくようにする。 複数の立候補がある場合 その役割の特徴や重要度等を周知させ、その上で再立候補するか確認。 それでも複数の場合 決め方も委員たちに仰ぐ 必要な物のリストアップが不十分である事、実行不可能である事、やるからには徹底して取り組むべきという事を厳しく伝えると共に、これまでの委員の努力を認める。
15:40	解散 ●食事担当(野崎)打ち合わせ 今後の仕事(食材リスト作りについて)	ゴール候補者(2人)への助言 ポイント説明を聞かせる工夫 次回選抜のための実演法
16:30	振り返り・今後について (大久保さん、鶴村さん、館長、角園、長谷川) 今後は個別に盛り立てていく必要あり。自分自身が実行する責任感を高め、各役割を全うさせる。それでも当日各箇所に大人を配置する必要あり。しおりについて...当日不参加の委員(松本)と共に作成手がけていく。	
16:30	終了	
所見	...役割の分担の際に、”やってみよう”と立候補する委員の意欲に素晴らしさを感じる一方で、まだその役割の内容を把握しきれていない様子が伺える。一つ一つ、その仕事はどのような内容か確認していく作業を経て、具体的仕事が見えてきているが、必要物を考える際に当然出てくるべき文字カードが思いつかない事等から、委員の意識の不十分さを感じた。大久保さんから喝が入り、次回へと繋げられ、委員としての責任感を抱ききつかけとなった。その責任感と意欲を盛り立てながら、各自の役割に必要な助言をしていけるようにしたい。	